

羽曳野市立萱田中学校 令和 6 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

【0】はじめに

調査要領に記載されていますとおり、本調査結果は、本校生徒の学力や学習状況、生活習慣を一定把握するものです。学校の教育活動の一側面として、今後とも子どもたちの学力、学習意欲の向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

(令和 6 年 4 月・3 年生にて実施)

【1】結果分析

【国語】

成果と課題	<成果> ○短答式問題の正答率(64.2%⇒府 62.0%、全国 61.8%)、行書に関する問題の正答率(77.4%⇒府 75.8%、全国 75.6%)が全国平均をある程度上回っている。言語事項やその他の分野において、知識の定着が見られる。 ○読むことについての正答率(48.1%⇒府 47.2%、全国 47.9%)が全国平均をやや上回っており、作品や文章に対する読み取りの能力に定着が見られる。 ○全体を通して無回答率が低く、意欲的である。 <課題> ○記述問題 3 問のうち 2 問の正答率が全国平均を大きく下回っている。 大きく下回った2つの問題は「自分の考えを書く」(39.8%⇒府 39.6%、全国 44.7%) 「表現の効果を説明する」(39.8%⇒府 46.7%、全国 49.3%)である。 やや下回った 1 問は「内容を決めて要約する」(39.8%⇒府 40.3%、全国 42.6%)である。 ○この状況と、先述した短答式問題の正答率の高さを合わせて、国語における本学年が持つ能力をその得意なものから順にあげていくと、「知識・単語の記憶」「与えられた文章について整理・調整する能力」「自身の考えや作品の構成に対して表現・再構成する能力」となる。また、これらの問題については無回答率も高くなっており、「どう書くか」ではなく「何を書くか」の時点で手が止まる生徒が多いということも推測できる。
改善方針	○授業の振り返り等を用いた作文の習慣化を行い、言語化能力の定着を図る。スマートフォンや SNS の普及により、短文形式による、吟味の少ないコミュニケーションに慣れている生徒に対して、定期的な課題によって、自己の学びや考え方について振り返り、言語化する取り組みは一定の成果を生み出すと考える。 ○思考・表現の分野外の言語事項を中心とした知識等の定着には、ただ知識を取り入れるだけでなく、それらの知識をつなぎ合わせ、系統だったものとして、関連性を意識させる。 ○それぞれの知識事項や言語事項に対してその背景や目的をきちんと押さえさせる。

【数学】

成 果 と 課 題	＜成果＞ ○「数と式」に関する問題の正答率が、全国、大阪府と比べると高い。特に、〔1〕文字を用いて式で表す問題と、〔6(2)〕ことがらが成り立つことを説明する問題ができている。 ○1次関数について、〔4〕式とグラフの特徴を関連付ける問題の正答率が高い。 ＜課題＞ ○「データの活用」に関する問題の正答率が、全国、大阪府と比べると低い。特に、〔7(2)(3)〕複数のデータを比較して読み取る問題に課題がある。 ○〔8(2)〕1次関数のグラフから、問題解決のために数学的に説明する問題の正答率が低い。 ○〔9(1)〕三角形の合同を基にして証明する問題の正答率が低い。
改 善 方 針	○「データの活用」の分野は、語句の意味の理解を深めるとともに、様々なデータの読み取りを通して、複数のデータの比較をする機会を増やす。 ○1次関数はグラフの読み取り問題、現実の問題との関連がある問題を多く解く。 ○図形の証明の問題については、問題文から証明に必要な条件をみつけること、合同な三角形の性質を用いて新たなことがらを証明することを重点的に取り組む。

【2】生徒アンケート結果(大阪府・全国は今年度の数値)

数値は「とても当てはまる」「当てはまる」の肯定回答を合計している

1 生活習慣 ○設問 ()は設問番号

朝食を毎日食べている生徒の割合が、大阪府平均を上回っているのは、本校の食育の成果だと考えられます。毎朝同じくらいの時間に起床できている生徒の割合は少し下回っており、これは修学旅行の起床時にも、同室内で起こしてもらっていた生徒も見られたことからわかります。もっと多くの生徒が、自身で起床することができるよう、普段から生活リズムを整えていってほしいと思います。また、テレビ・スマートフォンでのゲームや動画視聴などの、1日当たりの使用時間は、全国・大阪府平均を上回っているところもあり、使い方についての約束のないご家庭もあるようです。学校でもこうした指導を引き続き行っていますが、家庭でのルールづくりをお願いいたします。

○朝食を毎日食べていますか。(1)

本校	89.3 %
大阪府	89.1 %
全国	91.2 %

○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(3)

本校	90.4 %
大阪府	92.0 %
全国	92.5 %

○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(5)

	4 時間以上	3 時間以上	2 時間以上	1 時間以上	1 時間以下	全くしない
本校	26.9 %	9.7 %	23.7 %	24.7 %	7.5 %	7.5 %
大阪府	22.8 %	13.4 %	18.4 %	18.5 %	15.8 %	10.2 %
全国	16.6 %	12.4 %	19.9 %	19.9 %	17.7 %	11.2 %

○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)(6)

	4 時間以上	3 時間以上	2 時間以上	1 時間以上	30 分以上	30 分以下	全くしない
本校	21.5 %	24.7 %	17.2 %	18.3 %	8.6 %	7.5 %	2.2 %
大阪府	24.7 %	15.1 %	21.8 %	20.6 %	9.4 %	5.6 %	1.9 %
全国	18.2 %	14.3 %	23.4 %	23.3 %	10.7 %	5.8 %	3.4 %

○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか(7)

	きちんと守っている	だいたい守っている	あまり守っていない	守っていない	約束はない	もっていない
本校	22.6 %	40.9 %	4.3 %	0 %	29.0 %	3.2 %
大阪府	33.7 %	38.9 %	5.9 %	1.7 %	17.2 %	1.8 %
全国	34.0 %	38.2 %	5.6 %	1.3 %	16.8 %	3.2 %

2 家庭学習の状況

平日の家庭学習の時間が、「30分以下」「全くしない」の割合が、府・全国平均を大きく上回っています。2年生の頃から少しずつ家庭学習をするようになった生徒は増えていますが、学習の習慣化に向けて、自ら見通しをもって取り組むことができるよう、継続的に指導・声かけをしていきます。

○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(21)

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
本校	6.5 %	17.2 %	28.0 %	16.1 %	18.3 %	14.0 %
大阪府	12.5 %	23.4 %	27.3 %	14.3 %	11.4 %	10.6 %
全国	9.2 %	22.5 %	32.6 %	18.4 %	10.4 %	6.6 %

3 教育活動の成果と保護者の協力

「集団づくり」に取り組んでいる本校では、班活動や学級活動、学年・学校行事を通じて、「学校に行くのは楽しい。」という生徒の割合も、府・全国平均を大きく上回っています。いじめや差別を許さないという人権意識も高く、保護者の方の学校教育活動に対するご協力の成果だと考えられます。一方で、自己肯定感の低さや、友達関係への満足度の低さも表れており、卒業に向けて、「自分たちで何かを達成する」ことが味わえるよう、これからの教育活動につなげたいと思います。

○自分にはよいところがあると思いますか。(9)

本校	76.3 %
大阪府	81.0 %
全国	83.3 %

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(13)

本校	98.9 %
大阪府	95.8 %
全国	96.2 %

○学校に行くのは楽しいと思いますか。(16)

本校	84.8 %
大阪府	82.5 %
全国	83.8 %

○友達関係に満足していますか。(18)

本校	85.0 %
大阪府	89.2 %
全国	90.1 %